

各都道府県支部と本部を結ぶ

令和4年2月10日

随時発行

全国小売酒販政治連盟

東京都目黒区中目黒2-1-27

Tel 03 (3714) 0172

※速報版のため事後修正の可能性有り

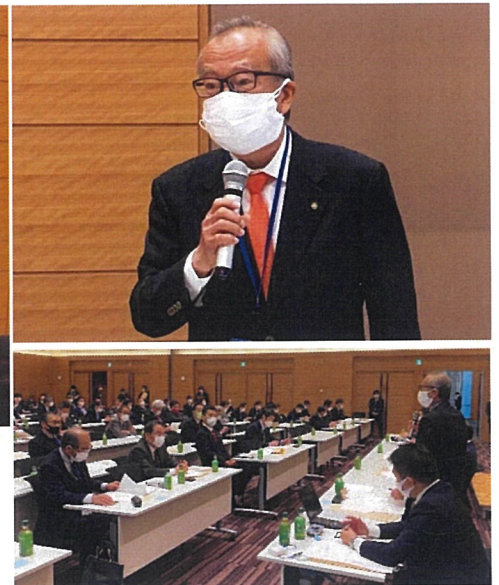
酒政連だより

【街酒議連緊急総会】

「もう力尽きた」、「このままでは首を括るしかない」組合員の悲痛な叫びを訴え



左) 議連幹部へ要望書を手交する吉田会長
右上) 冒頭挨拶を行う吉田会長
右下) 多くの議員が駆け付けた



令和4年2月9日、衆議院第一議員会館にて自由民主党「街の酒屋さんを守る国会議員の会」緊急総会が開催されました。

現在多くの地域で、オミクロン株の感染急拡大によるまん延防止等重点措置が発令されていますが、今般の措置によりコロナ発生当初より苦しんできた酒販店は、かつてないほどの苦境に立たされています。まん延防止措置の適用有無に関わらず、人流の大幅な減少や、飲食店の取引の半減により、明日の商売、生活への不安を訴える組合員は全国に大勢います。

国は中小零細事業者を対象とした「事業復活支援金」の受付を1月31日より開始しましたが、飲食店における酒類の提供制限、かつ協力金ナシという酒販店の状況を救うものではありません。

議員本人68名、代理97名が出席するなか、吉田会長、水口常勤理事をはじめ酒政連役員より、全国の組合員の状況を必死に訴えました。以下、吉田酒政連会長の発言及び出席議員の発言をまとめました。

吉田会長挨拶・水口理事の要望

組合員の声、思いを代弁 強い憤りを表明

吉田 精孝 酒政連会長

一部の方より、今般のまん延防止等重点措置は、酒類の流通を完全に止めるものではないので、緊急事態宣言時のような大幅な経営的ダメージはないのではという、憤懣やるかたない事を言われた。それは全くの幻想だ。

たしかに、ごく一部のスーパーなどは、家飲みなどで好調なところもあるかもしれない。しかし、多数は艱難辛苦しており、繁華街や小さな街の飲食店の状況を国会議員の先生方、行政の皆様にご覧いただきたい。どれだけのお客さんが入っているだろうか。

飲食店では酒類提供の有無によって協力金の支援額が異なり、酒類を提供しない店の方が受取支給額が多くなる。これは飲食店における酒類提供の有無が、飲食店の売上を左右することを自治体は認識しているということにほかならない。

先の西村大臣の発言と同じで、ある意味では、飲食店に酒類を提供するな、と言っているようなものではないか。飲食店と同様かそれ以上に悲惨な状況なのは、火を見るより明らかだ。これだけ、酒に特化した規制なのであれば、酒類業者へそれ相応の支援があってしかるべきではないか。

昨年夏から9月に「まん延防止措置」がなされたときも、酒類業者独自の支援がなされたが、今はさらにひどい状況にある。

「事業復活支援金」は一つの参院選対策だと私は思っているが、我々酒類小売業者への参院選対策には全くと言っていいほど、なっていない。今般の支給要件に我々は怒りを覚えている。

一時支援金や月次支援金の支給時には、先生方のご配慮により酒類業者独自の支援金が整備された。今回、「事業復活支援金」に加え酒類業者独自の支援金がないのはなぜか。昨年の状況とどこが違うのか。先生方は、他の業種・業態と我々酒類業者を同一視するといった誤った認識でいらっしゃるのか。

一時支援金や月次支援金の時に、酒類業者独自の支援金があったのか、それは酒屋は大変という、国民のコンセンサスがあったからだと思う。この時のことを思い出していただきたい。議連の場で、再びこのような話をしなければならないことを全国10万人の組合員を代表し、皆さま方へ遺憾の意をお伝えしなければならない。

本日はどうか一人でも多くの先生に、最後まで我々の声を聞いていただきたい。

水口 尚人 常勤理事（中央会事務局長）

我々は飲食店との補償のギャップに強い違和感と憤りを感じている。売るものがなくなった我々酒販店はどうすればいいのか。

未だ酒類の提供制限にターゲットを絞った施策が行われている。自治体に要望すると、「酒販店への補償については、飲食店と違い国からの交付金がなく、支給することができない」と言われる。



組合員からの悲痛な声は強まっており「もう力尽きた」と言われることが多くなった。力を振り絞ってもう力尽きたと思うことも、人にそのようなことを言うことも滅多なことではないだろう。それだけ大変で、もう頑張れない、そんなところまで追い込まれてしまった、組合員が多数いることを、先生方にもどうかご理解いただきたい。日本の社会、地域を支え、街に灯りをともしている、我々の役割を正當に評価しご支援いただけないか。どうか助けてください。

役員より酒販店の状況についての訴え

報じられない実態 売上減少に苦しむ生の声が次々と



大野 建 副会長

(愛知県連会長、東海支部長)

飲食店に対しては、定休日は関係なく1か月30日、31日で計算し協力金が支給されるという。そんな馬鹿な話はない。

私の会社の実態をお伝えしたい。売上は令和元年と比較し令和2年は25%ダウン、令和3年には52%ダウンした。従業員の首を切ることにはなかなかできない。何とか事業を続けていくため、たくさん融資を受けたが、このままではないが死ぬしかない、という状況にまで置かれている。何とか先生に酒屋の状況をお伝えしたい、その思いで今日はここに来た。

中村 栄吉 理事 (富山県連会長、北陸支部長)

本日は、資料の中に2019年から2022年の私の店の売上を表にして入れさせていただいた。酒類の提供停止や緊急事態宣言等が出た時期は、最大85%もの売上減だ。事業規模に応じた公平感のある支援をお願いしたい。ある組合員は、金融機関から「生命保険に入って」とお願いを受けたそうだ。金融機関が我々酒類業者は危機的であると思っているということだ。そこまで来てしまった酒販店の状況を十分ご理解いただきたい。

石川 清和 副会長 (広島県連会長、中国支部長)

業務用は減っても、家飲みが増えているといわれるが、家庭での消費はそれほど多くない。ある県内業務用酒販店は90%以上売上が落ちているところもある。従業員をどうやって守るのか、どうやって生活をしていくのか。最終的にはつぶれてしまえということになってしまうのではないかと。よく施策をご検討いただきたい。

伊藤 博 副会長 (大阪府連副会長)

業務用だけではない、一般消費者を相手にしている街の酒屋も本当に大変だ。地域のお祭りなどのイベントもなく、売上が全くないのが実態だ。大阪の場合50%以上の落ち込みがないと支援がない。大阪の場合、自民党は全滅。助けてもらう先もない。組合の存続すら難しい状況になっていくだろう。何とか助けていただきたい。

助川 則夫理事（茨城県連副会長、関信越支部長）

潤っている店は100%ないだろう。様々な支援があるが、焼け石に水。商売をやっていることはできないのが実情だ。また一部で事実ではないこと、ごく一部の状況のみが報道されることがある。実情はどうかを、先生方、行政の皆様には見極めて支援をお願いしたい。世界の大災害の渦中にある、V字回復は見通せない、ウィズコロナとして事業をやっていないといけないとほとんどの人が思っている。大幅な売上減により既に立ち行かないという声も多い。

坂田 辰久顧問

飲食店への取引はほとんどなくなっている状況だ。飲食店も苦しいが酒販店は支援すらない。酒販店に対する支援金をもう少し厚くしてほしい。

出席議員のご発言

業界要望を受け 早急な支援を必要とする意見相次ぐ

田中 和徳 会長（衆・神奈川10区）

コロナにより社会全体が痛めつけられている事態だ。我が国としてこの事態をどのように乗り越えていくか。政治の真価が問われる事態である。特に酒販の業界の皆様は悪者扱いをされてしまう状況がしばしば起きてしまった。議連は業界の皆様状況を受け止め、勘案をして積極的に活動してきた。ある程度の成果があったが、オミクロン株により大変厳しい事態に置かれている。今日は、役員の皆様より悲痛な叫び、実情を伺った。議連としてももしっかり対応していく。議連役員で検討し早急に対応する。



坂本 哲志 先生（衆・熊本3区）

田中会長と共に頑張っていきたい。先がなかなか見えず大変な苦しみにあると思う。自分のこととして酒屋さんを支えていきたい。

菅家 一郎 先生（衆・福島4区）

酒販店の皆様の悲痛なお声を伺った。都道府県知事の判断により現在、時短要請や酒類提供制限が行われているが、抗原検査キットを活用し、飲食店も動かしていかないといけない。

宮澤 博行 先生（衆・静岡4区）

酒類を提供しない方が協力金が多い現状が生まれてしまった、それは事実であり是正しなければいけない。都道府県への交付金の見直しが必要だろう。必要なところに必要な支援が速やかに届くよう検討をしていくべきだ。

古川 康先生（衆・佐賀2区）

生の声を伺った。政治の力が必要だと思う。飲食店とそれ以外の業種・業態とでなぜ差があるのかとう声がたくさん届いている。事業復活支援金は個人事業者の場合、売上減少率30%以上50%未満で30万円だが、なぜこの金額なのか。その回答次第では、増額を含めた検討を行えるのではないか。

上田 英俊先生（衆・富山2区）

協力金のある飲食店との不公平感が拭えない。飲食店への納入業者である酒販店の皆様は協力金すらなく、取引もなくなるという大変な状況にある。納得感のある支援の整備が必要である。

藤末 健三先生（参・比例代表）

経済産業省出身で支援制度をつくってきた、また財金理事を務めている。国会で皆様の要望を反映させていきたい。皆様のお役に必ず立ちたいと思う。

※議連出席の議員（本人）、代理については別紙をご参照ください。

【議連幹部】

政府等への「緊急救済支援」を要望へ

議連終了後、業界要望、出席議員の意見を踏まえ緊急招集された田中会長、坂本幹事長、橋事務局長による議連幹部会議にて、政府、党に対し「厳しい状況にある酒類業者独自の緊急救済支援制度を求める要望書」を提出することが決定しました。

議連として、松野内閣官房長官、高市党政務調査会長、山際経済再生担当大臣へ酒類業者独自の緊急救済支援を要請することになります。

（※要望については後日「酒政連だより」にて報告いたします。）

代理出席

名前	衆・参	選挙区
小林 史明	衆	広島7区
和田 義明	衆	北海道5区
武田 良太	衆	福岡11区
渡海 紀三朗	衆	兵庫10区
宇都 隆史	参	比例代表
高市 早苗	衆	奈良2区
中西 祐介	参	徳島・高知
小倉 将信	衆	東京23区
大野 泰正	参	岐阜
鈴木 俊一	衆	岩手2区
藤原 崇	衆	岩手3区
熊田 裕通	衆	愛知1区
井上 信治	衆	東京25区
中曽根 康隆	衆	群馬1区
藤川 政人	参	愛知
森屋 宏	参	山梨
うえの 賢一郎	衆	滋賀2区
牧原 秀樹	衆	比例北関東
平沢 勝栄	衆	東京17区
江島 潔	参	山口
野村 哲郎	参	鹿児島
平井 卓也	衆	香川1区
石破 茂	衆	鳥取1区
野上 浩太郎	参	富山
加藤 勝信	衆	岡山5区
中曽根 弘文	参	群馬
伊藤 達也	衆	東京22区
菅 義偉	衆	神奈川2区
岩屋 毅	衆	大分3区
金子 恭之	衆	熊本4区
武藤 容治	衆	岐阜3区
斎藤 洋明	衆	新潟3区
井林 たつのり	衆	静岡2区
甘利 明	衆	神奈川13区
古賀 篤	衆	福岡3区
小里 泰弘	衆	鹿児島3区
田中 英之	衆	京都4区
大家 敏志	参	福岡
長谷川 岳	参	北海道

名前	衆・参	選挙区
後藤 茂之	衆	長野4区
土井 亨	衆	宮城1区
古川 禎久	衆	宮崎3区
松村 祥史	参	熊本
三木 とおる	参	比例代表
森 英介	衆	千葉11区
鬼木 誠	衆	福岡2区
笹川 博義	衆	群馬3区
黄川田 仁志	衆	埼玉3区
宮本 周司	参	比例代表
辻 清人	衆	東京2区
豊田 俊郎	参	千葉
岩田 和親	衆	佐賀1区
吉野 正芳	衆	福島5区
林 幹雄	衆	千葉10区
山田 賢司	衆	兵庫7区
小野田 紀美	参	岡山
滝沢 求	参	青森
丸川 珠代	参	東京
山口 晋	衆	埼玉10区
石田 真敏	衆	和歌山2区
麻生 太郎	衆	福岡8区
堂故 茂	参	富山
武村 展英	衆	滋賀3区
福田 達夫	衆	群馬4区
石井 正弘	参	岡山
武井 俊輔	衆	宮崎1区
馬場 成志	参	熊本
田野瀬 太道	衆	奈良3区
木原 誠二	衆	東京20区
吉川 たける	衆	静岡5区
遠藤 英昭	衆	山形1区
森山 裕	衆	鹿児島4区
御法川 信英	衆	秋田3区
田中 良生	衆	埼玉15区
鈴木 英敬	衆	三重4区
高橋 はるみ	参	北海道
秋本 真利	衆	千葉9区
牧島 かれん	衆	神奈川17区

※いただいた名刺を元に作成しております。

※順不同、敬称略

ご本人出席

名前	衆・参	選挙区
後藤田 正純	衆	徳島 1 区
新谷 正義	衆	広島 4 区
若林 健太	衆	長野 1 区
古川 康	衆	佐賀 2 区
中村 裕之	衆	北海道 4 区
加藤 鮎子	衆	山形 3 区
川崎 ひでと	衆	三重 2 区
赤澤 亮正	衆	鳥取 2 区
中谷 元	衆	高知 1 区
神田 潤一	衆	青森 2 区
石原 正敬	衆	三重 3 区
田中 和徳	衆	神奈川10区
高木 宏壽	衆	北海道 3 区
神田 憲次	衆	愛知 5 区
野中 厚	衆	埼玉 1 2 区
東 国幹	衆	北海道 6 区
あべ 俊子	衆	岡山 3 区
藤井 比早之	衆	兵庫 4 区
橘 慶一郎	衆	富山 3 区
永岡 桂子	衆	茨城 7 区
今枝 宗一郎	衆	愛知14区
滝波 宏文	参	福井
鈴木 馨祐	衆	神奈川 7 区
宮澤 博行	衆	静岡 3 区
加田 裕之	参	兵庫
塩谷 立	衆	静岡 8 区
伊藤 信太郎	衆	宮城 4 区
堀井 巖	参	奈良
山口 俊一	衆	徳島 2 区
細田 健一	衆	新潟 2 区
八木 哲也	衆	愛知 1 1 区
宮下 一郎	衆	長野 5 区
江渡 聡徳	衆	青森 1 区
松本 洋平	衆	東京19区
伊東 良孝	衆	北海道 7 区
柴山 昌彦	衆	埼玉 8 区
高木 けい	衆	比例東京
上田 英俊	衆	富山 2 区
舞立 昇治	参	鳥取・島根
井出 庸生	衆	長野 3 区
新藤 義孝	衆	埼玉 2 区

名前	衆・参	選挙区
土屋 品子	衆	埼玉 1 3 区
島村 大	参	神奈川
渡辺 猛之	参	岐阜
根本 幸典	衆	愛知 1 5 区
高木 毅	衆	福井 2 区
木原 稔	衆	熊本 1 区
宮内 秀樹	衆	福岡 4 区
橋本 岳	衆	岡山 4 区
津島 淳	衆	比例東北
小淵 優子	衆	群馬 5 区
穂坂 泰	衆	埼玉 4 区
平口 洋	衆	広島 2 区
小島 敏文	衆	広島 6 区
柳本 顕	衆	比例近畿
高鳥 修一	衆	新潟 6 区
山下 貴司	衆	岡山 2 区
佐々木 紀	衆	石川 2 区
福岡 資麿	参	佐賀
松下 新平	参	宮崎
菅家 一郎	衆	福島 4 区
三ッ林 裕巳	衆	埼玉 1 4 区
務台 俊介	衆	比例北陸信越
鈴木 淳司	衆	愛知 7 区
盛山 正仁	衆	兵庫 1 区
木村 次郎	衆	青森 3 区
坂本 哲志	衆	熊本 3 区
藤末 健三	参	比例代表

※いただいた名刺を元に作成しております。

※順不同、敬称略